

1 「モデル事業場指導」の方法等について

- ◎ 指導回数や指導時間について指導担当者と調整ができ、指導方式としてよかった。
- ◎ 資料、内容ともわかり易くてよかった。
- ◎ リスクアセスメントに取り組みたいと考えていたが、なかなか進められずにいたが非常に良い機会を得られた。
- ◎ 昨年からの化学物質の取扱い作業について作業環境改善を行ったが、今回の指導を受けた後に設備改善を行えば、少ない投資額で効果を上げることができたと考えられる。
- ◎ 今回の指導はたいへん参考となった。化学物質リスクアセスメントに対する理解を深めることができた。
- ◎ 指導内容、回数、期間、時間数とも良かった。3ヶ月という期間は、4半期計画の中に盛り込むことができ、うまく進めることができた。
- ◎ 事業場内で指導を受けることから時間の損失が少なく、また集中することができた。

2 リスクアセスメントの手法について

- ◎ 評価手法自体は理解できたが、実際に評価するうえでは手間がかかる。例えば、必要項目を入力すると結果が表示されるような簡単なソフトを開発してほしい。
- ◎ 実測値無しでアセスメントを実施してリスクレベルが高い場合、局排等を整備し作業環境濃度を低くしてもリスク評価は変わらないので、設備の設置等を行った場合のリスク評価を設定してほしい。

3 指導後の効果について

- ◎ 外部指導者からのアドバイスを受けたことにより、職長クラスに作業環境改善に対する意識変化を感じた。
- ◎ リスクアセスメントの実施の重要性、必要性を実感した。化学物質のリスクアセスメントだけでなく、社内にある危険有害要因について、改めて計画をたて、対策に取り組んでいきたい。
- ◎ MSDS から有害性を調査することにより、少量使用の作業であっても化学物質の有害性を改めて認識し、対策を検討しようとする意識改革ができた。
- ◎ たいへん参考になった。今後、化学物質だけでなく安全を含めてリスクアセスメントを活用していきたい。

➡➡このパンフレットは、「化学物質リスクアセスメントモデル事業場指導」（健康障害防止関係）結果について、モデル事業場指導結果検討委員会が周知・広報用の報告書としてとりまとめたものです。